

コ ー ス	生体と薬物 (General Principle of Pharmacology)		
学年・期・単位	第2学年・後期・1単位	科目担当責任者	李 昌一 (生体管理医学講座 薬理学分野・教授)
オフィスアワー	毎週金曜日16:30~18:00(第1研究棟3階歯科薬理学研究室)	メールアドレス	
一般目標 (GIO)	「薬って何だろう?」、「なぜ薬で病気はなおるのだろう?」このような根本的な薬の生体作用に対する疑問に答えるような講義から始め、学習者が薬理学とはいかなる学問かを理解できる。従って、学習者が薬理学および歯科薬理学の基礎を学ぶために必要な知識を身につける。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 薬理作用	薬物療法の意義、薬理作用の基本様式と、薬理作用を規定する因子を理解する。
2. 薬物の適応と体内動態	薬物適用方法の種類、特徴を理解できる。薬物適用後の体内動態を理解する。
3. 歯科臨床で使用される薬物	歯科臨床でよく使われる抗菌薬と消炎鎮痛薬の作用機序を理解する。
4. 薬物と医薬品	薬物と医薬品の違いとその法的区分、そして両者の取り扱いを理解する。
5. ふり返り総合学習	薬理学の重要事項を判断できる。
6. 試験評価	薬理作用におけるすべてのユニット内容を把握する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 解る 歯科薬理学	李 昌一 他編著	学建書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
現代歯科薬理学	小椋秀亮 監修	医歯薬出版
NEW 薬理学	田中千賀子・加藤隆一 編集	南江堂
小歯科薬理学	猪木令三	学建書院
配布資料	神奈川歯科大学 生体管理医学講座 薬理学分野	神奈川歯科大学 生体管理医学講座 薬理学分野

評価法 (EV)
中間試験 [客観式および記述式] (47.5%)、後期本試験 [客観式および記述式] (47.5%)、ポートフォリオ (5%) による総合評価とし合計60%以上を合格とする。ただし、ポートフォリオ未提出者は再試験扱いとする。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/5	薬理作用	1. 原因、対症、予防、補充の各療法を説明できる。 2. 受容体を介する作用について説明できる。	A P4～5, P27～32 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2)-①② 必15-B-a 必15-Z-d 総 (X)-9-A,F
2	9/12		受容体を介する作用について説明できる。	A P27～32 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2)-② 必15-Z-d 総 (X)-9-F
3	9/26		1. 受容体を介さない作用について説明できる。 2. 薬物の作用機序を説明できる。	A P27～32 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2)-②③ 必15-Z-b,d 総 (X)-9-F
4	10/3		1. 薬物連用による耐性、蓄積、依存を説明できる。 2. 薬物併用による協力、拮抗、相互作用について説明できる。	A P21～24 P39～40 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2)-⑤⑥ 必15-Z-e,g 総 (X)-9-E,H,I
5	10/17	生体の薬物に対する感受性の差 (年齢、体質など) の特徴を説明できる。	1. 薬理作用に影響を与える因子を説明できる。 2. 薬物の用量と反応の関係を説明できる。	A P35～37 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-2)-③④ 必15-Z-c,f 総 (X)-9-D,E,G,J
6	10/24		1回から6回までのユニットの行動目標を説明できる。	A P43～45 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-2)-④ 必15-Z-c 総 (X)-9-C,D,G,J
7	10/31		試験評価	中間試験を実施する。	薬理学分野教室員全員	
8	11/7	薬物の適応と体内動態	薬物動態における吸収と分布および代謝と排泄を説明できる。	A P8～12 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3)-①② 必15-Z-b 総 (X)-9-C
9	11/14		薬物動態の吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。	A P8～19 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3)-② 必15-Z-b 総 (X)-9-B,C,D
10	11/21		薬物の適応方法の種類とその特徴を説明できる。	A P8～19 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3)-② 必15-Z-a 総 (X)-9-B,C
11	11/28	物 歯科臨床で使用される薬	消炎鎮痛薬の作用機序を説明できる。	A P185～194 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	吉野文彦	D-5-2)-③ D-5-4)-① 必15-Z-a,d,g,h,i 総 (X)-9-A,B,E,F,I,K,L
12	12/5		抗菌薬の作用機序を説明できる。	A P215～235 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	D-5-2)-③ D-5-4)-① 必15-Z-a,d,g,h,i 総 (X)-9-A,B,E,F,I,M
13	12/12	薬物と医薬品	1. 薬事法による医薬品の分類を説明できる。 2. 日本薬局方を説明できる。 3. 毒薬、劇薬および麻薬等との表示と保管を説明できる。	A P46～49 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	D-5-1) 総 (X)-9-R,S
14	12/19		薬を取り巻く様々なトピックを解説できる。	薬を取り巻く様々なトピックを解説する。	李 昌一	D-5-2) 必15-Z-a～i 総 (X)-9-A～S
15	12/22 (調整期間) 1限目	合学習 ふり返り総	1回から14回までの総復習	生体と薬物におけるポートフォリオと配布資料を整理し凝縮させる。	薬理学分野教室員全員	